

「未来貢献PROJECT」

挑戦問題 『ふるさとの未来のために、メッセージを伝えよう！』

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働 感謝・貢献

期待される生徒の変容

文化活動発表会の創作劇において、自分たちが育ってきたふるさとの未来に貢献するための課題を設定し、課題解決へむけたメッセージを創作劇という総合的な表現活動を通して地域に発信することで、故里への社会貢献に向けた自分たちの志を確かなものにする。また、総合芸術と呼ばれる演劇による表現活動に取り組むことを通して、これまでに習得した言語能力と情報活用能力を基盤として各教科で学んだ知識・技能を総合的に発揮し、協働してひとつのものを創っていく経験を通して、実社会における協働的な問題解決が能力を鍛えられることが期待できる。

令和元年度の取組より

Before 【初発（台本に初めて触れて）の生徒の振り返りより】

・自らの立候補だけ先生から「ナレーションは大変だから工夫して頑張らなさい。」と言われても本当にできるのかと少し不安になりました。
 ・台本を読む際、その役はどのような人なのか、またどのように演技したらその役性格に近づくのかを考えながら読みました（例えば、生徒歌のセリフの時には応援団風にするなど）。本番に向けてしっかりセリフを覚え、はっきり言えるように決意します。
 ・避難してきた人の部屋割りをどうやってしていくかが難しそうです。私は創作劇の実行委員長で、救護居住班の班長で、本当にみんなをリードできるかという面でも心配です。

・劇班で初めての読み合わせではただ読んでいる感じになってしまったので、どうすれば「津波が迫ってくる感じを伝えられるのか」雰囲気を出してセリフを言わないといけないなと感じました。

地域防災リーダーとミーティング



After 【生徒の振り返りより】

・人前で話すことは大きな壁となりました。でも仲間が「ガンバレ」と言ってくれたことが大きな力になりました。私は自分がなすべき「ナレーション」という役をしっかりと果たせたんじゃないかと思えます。お見送りの時の地域の方の笑顔は私の一生の宝物です。
 ・地域の方や保護者に防災学習で学んだ知識・技能を自信を持って伝えることができました。伝えられたことも大切だけど、仲間と絆を深めることができたことも大切だと思いました。
 ・救護居住班の役としてどうやって部屋の割り当てをすればいいのかわかりませんでした。しかし避難所運営ゲームや地域の方と一緒に取り組んでいくうちに少しずつイメージができるようになりました。分からないことは仲間と話し合っ解決することができました。創作劇もうまくいったと思います。これからも地域の方と協力して巨大地震が来ても犠牲者0にできるような避難プログラムを考えていきたいです。

<生徒の変容（資質・能力）>

地域の方と協働し、創作劇を作り上げたことで、防災に関する基本的な知識とともに、地域に対する感謝・貢献する力、仲間と協力・協働する力、自分の役割を果たすこと、自分の命を守る責任・使命の力が付いたと考える。

創作劇「誓い ～広南
避難プログラム～」本番



令和2年度指導計画・ワークシート改善のポイント

・今年度は教員の異動もあり、脚本づくりに非常に苦労した。広南地区の歴史を踏まえた作品づくりは素晴らしいものと思うが、継続していくために合理的に計画的に取り組んでいく必要がある。そのためには、0学期に台本の骨子、春休みに台本作成にとりかかる。1学期末には台本を配布し、役を決めておくと2学期もスムーズに行くように思う。

・今年度は生徒にとってテーマが難しく、生徒が達成感を味わうことができたかは疑問に思う。取り上げることに意義あるテーマであったが、その意義をいかに生徒に落としていくかということが課題となった。そのためにも、0学期の志を持たせる工夫が必要となる。